

# 天の時・地の利・人の和



●レポーター名  
総領町にお住まいの 森川 乃里恵さん

私は小学校4年生から高校卒業までの9年間、器械体操（バク転や宙返り等のアクロバットをする競技）をしていました。

引退後、県内の大会で出会った小学校の先生に誘われ、指導に携わっていました。

大学を卒業した後、三次に就職、結婚、出産、そして2013年に総領に引っ越ししてきました。ある日、総領保育所内の子育て支援センターで部活の話になり、私は卓球も中学校時代に部活でやっていたので、どちらも出来る教室を開いてみたいと思うようになりました。

そして、子育て支援センターの先生の一人が親身に相談にのってくださいました。また、練習会場を探す際は、庄原市内の体育館の備品リストを用意してくださった方、里山総領体育館の下見に同行してくださった支所の方もいました。さらに支所の方は、「一緒にやりませんか?」との誘いを快く引き受けてくださるなど、たくさんの人への理解や協力があり、2014年に総領TGCスポーツ少年団の前身のクラブを立ち上げることができました。ここでも、卓球経験者の方が指導を引き受けてくださっています。

私が小学生の時に体操のチラシを見つけて始めたいと言ったときから、両親の100%の支援、体操の仲間、体操クラブ・高校の恩師、そして総領で出会った方々など、たくさんの人と出会い、支えられてきました。私が経験させてもらったことを伝えることで、恩返しが出来ればと思います。総領での活動を通して人と人が大きな和になり、私もその一部となれるよう、日々邁進します。

